特集 未踏ユースから育ったタレントたち

大規模なソーシャルデータから価値を創出する

大澤 昇平 筑波大学大学院システム情報工学研究科

筑波大学大学院システム情報工学研究科博士前期課程在学中、ソーシャルネットワークからのデータマイニングの研究に 従事. shohei.ohsawa@kde.cs.tsukuba.ac.jp

私たち人間は、多くの人との社会的関係の中で生活 をしています。友人関係や家族関係などがその一例で す。こうした個人間の関係は、「ソーシャルネットワー ク」というネットワーク構造で表現することが可能です. 実社会のソーシャルネットワークは、多くの人同士の関 係が絡み合い、巨大で複雑なものになっています。さら に、こうした関係は目に見えるものではないため、個人 が知ることができるソーシャルネットワークの範囲は 「自分と関係のある人、もしくはその周辺の人だけ」と いう、広大なネットワーク全体に対してきわめて狭いも のになります. それでは、このように人間は自分の周り の人間の情報しか入手できず、自分と離れたところで形

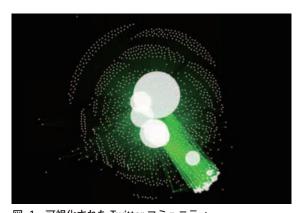


図-1 可視化された Twitter コミュニティ 影響力の高い少数の大きなコミュニティと、その周辺にあ る多数の小さなコミュニティが確認できる.



図-2 ブラウザでソーシャルブックマーク 他のユーザのブックマークが表示されている.

成されている社会的関係を知ることはできないのでしょ うか. 近年, SNS の登場により, この疑問は解決され ようとしています.

mixi や Facebook. Twitter に代表される SNS では. 個人のプロフィールや友人関係をサービス内の情報とし て蓄積しています. そのため, SNS を利用することで, 他の利用者のことや自分以外の人同士の関係を知ること ができます、実際、SNSを通じて「この人とこの人っ て実は知り合いだったのか」と知った経験をされた読者 も多いかと思います。 mixi を例に挙げると、マイミクや、 日記にコメントするというアクションを社会的関係とみ なすことで、1つのソーシャルネットワークを構成でき ます.こうした SNS に内在するソーシャルネットワー クは、研究者が自動的に収集できることから、現在では これらが新しい研究の対象として注目されています.

ソーシャルネットワークの領域における研究の1つ として、可視化があります. 私の研究では、SNSの分 析と、その可視化を行っています(図-1).

ソーシャルとブラウジングの融合

2006 年度上期の未踏ユースで、私は netPlant とい う検索エンジンと、swimmie (図-2) という名前のソ ーシャルブックマークサービスを研究開発しました。検 索エンジンとソーシャルブックマークというとあまり関 連がないように思えますが、これらは互いに連携しなが ら、ユーザに新しい価値を提供します。ユーザは、ブッ クマーク内で、各ページのカテゴリ分けを行っておりま す、そのため、ブラウザに蓄積されたこの情報を利用す ることで、Webページのカテゴライズ(分類)が可能 になります.

NetScape の生みの親が作ったブラウザ、Rockmelt では、Facebook とブラウジングの連携を実現してい ます、このように、ソーシャルとブラウジングの融合は、 今後も発展していくと思われます.

(2011年9月5日受付)